学校番号	1011

令和８年度　学国際教養科

教科	学国際教養	科目	(学)国際理解	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本を含む世界の歴史、文化、風土などを学習し、国際人といて必要な文化的視野を広げよう。

2　学習の到達目標

・世界史Ａ、日本史Ａであまり取り扱わない、古代・中世の歴史や文化を理解する。
・先進国が作り出したグローバルスタンダードに振り回されることなく、世界には様々な価値観があることを理解し、今後の日本の在り方を考える。
・世界の様々な文化や歴史を踏まえて理解を進めようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本や世界の歴史と文化の概要を理解している。	中世から現代にかけての各国の世界の祭り、世界遺産、宗教などをその国の特徴も踏まえて理解できている。	世界の様々な文化や歴史を踏まえて理解を進めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本の近代遺産	幕末から明治大正昭和初期にかけて建築された日本の近代化に貢献してきた建物について関連する人物とともに学習する。	a:関連知識を答えられる b:体系的な流れを説明できる c:提出物の内容を踏まえて、知識を深めようとしている	定期考査	定期考査	提出物
	世界の様々な	世界にはそれぞれの文化があり、その表出として様々な祭りがあることを知る。	a:関連知識を答えられる b:体系的な流れを説明できる c:提出物の内容を踏まえて、知識を深めようとしている	定期考査	定期考査	提出物
2	世界遺産から	世界遺産で見る日本史	a:関連知識を答えられる b:体系的な流れを説明できる c:提出物の内容を踏まえて、知識を深めようとしている	定期考査	定期考査	提出物
	世界遺産で世	世界遺産で見る世界(北米、中米、南米、北欧、西欧)	a:関連知識を答えられる b:体系的な流れを説明できる c:提出物の内容を踏まえて、知識を深めようとしている	定期考査	定期考査	提出物
3	日本の無形文	能、狂言、歌舞伎など日本の無形文化を学習する。	a:関連知識を答えられる b:体系的な流れを説明できる c:提出物の内容を踏まえて、知識を深めようとしている	定期考査	定期考査	提出物
	世界の宗教	キリスト教徒イスラム教	a:関連知識を答えられる b:体系的な流れを説明できる c:提出物の内容を踏まえて、知識を深めようとしている	定期考査	定期考査	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度